

〈体育科〉 3年

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・曲のリズムに合わせて、楽しみながら大きな動きで踊ることができる。
- ・ボールを遠くへ投げることが苦手な児童や、ボールを取ることが苦手な児童が多い。
- ・すばやく走り始めたり、まっすぐ見て走ったりすることができる児童が多い。一方で、まっすぐ走ったり、最後まであきらめずに走ったりするという点で課題がある児童もいる。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・友達のよい動きを見つけ、自分の動きに取り入れることができる児童が多い。
- ・自己の能力に適した課題を見つけ、課題を設定することができる児童もいる。
- ・友達と作戦を考えることができる児童が多い。
- ・体育が苦手という児童の中には、自分ができないからというネガティブな感情をもっている児童もいる。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・ルールや注意事項を最後まで落ち着いて聞く児童が多い。
- ・速く走りたい、うまく踊りたいという願いをもって取り組むことができる。
- ・自分の力を精一杯出し切ることができる児童が多い。
- ・友だちと互いに励まし合い、教え合いながら運動することができる児童が多い。一方で、試合前のあいさつや勝敗の受け入れができない児童もいる。
- ・服装を整える（上着の裾をズボンに入れる・帽子のゴム・靴紐・ゼッケン）、運動する場所の安全を確認するなどの声かけは必要である。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・運動に親しみながら基礎的な知識や技能を身に付け、体力の向上を図る。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・チームワークを大切にし、全員が楽しみながら技能を高めるにはどうしたらよいかを、全員で考え、実践できるようにする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・集団行動の規律を守り、次の行動にすばやく移り、整列や集合ができるようにする。
- ・向上心を持ち、安全に配慮しながら意欲的に技能を高めていく態度を育てる。
- ・友達と協力する、励まし合う態度を高めていく。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・鉄棒やとび箱、マットなどの器械運動では、いくつかの場を設定することで個々のめあてを明確にし、自分のめあてに合った運動を行うことができるようにする。
- ・ゲーム領域では、自分たちのチームの特徴にあった作戦を選ぶことができるよう作戦カードを作る。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・一人一人が自分にあつためあてを達成できるように場を工夫する。
- ・ボールを使ったゲームではチームの課題をもたせる。
- ・ゲーム活動においては事前にチームごとに作戦を立てる時間をとる。また、前後半の間に作戦タイムを再度とり、次に活かす。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・集中して活動に取り組めない児童に対して周囲の児童が声をかけ、お互いに励まし合いながら活動ができるよう日頃から指導をしていく。
- ・児童に模範演技の場を設けたり、児童相互で見合う時間を取り入れたりして、向上心を持ち活動に取り組む意欲を育てていく。